避難所への防災井戸の整備は

町長 井戸に代わる措置を講じた



◆岩永（いわなが） 義仁（よしひと） 議員

平成27年作成のマニュアルには「生活用水確保のため防災井戸の整備に努める」と明記されていたが、令和5年に削除された。

問 **「養老町避難所運営マニュアル」に明記されていた約8年間での避難所への整備実績は。**

答 この期間に防災井戸の整備は行っていない。

問 **近年の大災害を教訓として、当初の予定通り非飲料用で生活用水確保を目的とした、メンテナンス費用も少なく無電源で使用できる安価な防災井戸の設置について、改めて提案する。**

答 生活用水確保に有効な備えであると考えている。しかし、設置場所や維持管理等で検討すべき課題がある。昨今の状況を踏まえ、実行可能性について調査・研究を進めたい。

問 **県を対象としていた可搬式浄水装置の国からの補助金が、町も対象になることが決まった。万一の時の給水体制強化のため、こちらの導入も提案する。**

答 現段階では導入する予定はない。しかし、現在実施している小型の可搬式浄水装置を活用した訓練等を通し、有効性や課題等を検討する。



「防災井戸イメージ」

県市町村の支出なしを受けて

町長 慎重な対応を進める

新食肉基幹市場の建設費用について、県・市町村からの支出はなく、国からの約40％の補助金のみという報道発表があった。

問 **建設費用について国庫補助金を差し引き、不足する約100億円はどう捻出するのか。**

答 県から民間事業者による資金負担を基本に進める方針が示されている。町として新施設の建設に対して直接関与する計画はない。

問 **民間事業者の見込みはあるのか。**

答 県の提案なので、県からはそういった事業者が関心を持っていると聞いている。

問 **新施設建設について用地取得費用とは別に町の支出はあるか。**

答 現時点で支出計画はない。

問 **県の提案を受けて、現在実施している町内関係者からの聞き取り調査で、どのような意見や懸念が出ているか。**

答 様々な意見が出ているが、県の協議で内容は伏せてということになっているので申し上げられない。

問 **町単独で約50億円の財政負担が見込まれる用地取得については、一旦ストップするか。**

答 事業主体、運営者等の決定がないので動けないというのが実情。

美味しい学校給食の維持は

町長 中学校の給食費全額公費負担



◆大橋（おおはし）みち子（こ） 議員

美味しい学校給食を維持していくには、物価高騰や保護者の負担、小学校統廃合などを考慮する必要がある。

問 **美味しい給食を維持する工夫は。**

答 栄養バランスを基本に、季節や地元の食材を取り入れ、既製品に頼らず手間をかけた献立作りに努めている。

問 **小中学校の給食費の負担内訳は。**

答 左記表のとおり。10月より県の「県産農産物を活用した特色ある献立メニューの食材費補助事業」を活用。

給食費負担内訳　単位：円

内訳	小学校	中学校
給食費月額	5,800	6,600
国からの補助金	5,200	0
町費負担金	600	3,300
保護者負担金	0	3,300

問 **中学校給食費の保護者負担軽減の考えは。**

答 今回、国の補正予算が追加され、財源確保の目途が立った。全額公費負担できるよう準備を進めていく。

問 **給食拠点校への配食は。**

答 広幡・上多度小では、養老小に学校給食を拠点校化し、安定した食材納入やコスト削減につながっている。保冷保温や配送ルートを配慮し、安全で安心な給食を提供できるよう細心の注意を払っている。

問 **小学校統合校の見通しとPRは。**

答 町の特色である自校給食の良さを統合後も大切にし、町民に見える形で発信する。

夢や希望をつなぐ養老鉄道は

町長 通学定期 保護者負担軽減

養老鉄道は、大垣・岐阜方面の高校へ通う高校生の通学に必要不可欠となる鉄道であるが、通学定期購入は保護者負担が大きい。

問 **通学定期代は年間いくらか。**

答 町内各駅から大垣駅まで1カ年の通学定期代は、養老駅から71、730円、美濃高田駅から62、700円、烏江駅から53、680円である。

問 **保護者の負担軽減を図る取組みは。**

答 アンケート結果や養老町地域公共交通会議の議論を踏まえ、令和9年度より通学定期の補助制度構築を進めていく。

問 **無人駅を明るく安心感が持てるように。**

答 町内有人駅1駅、無人駅2駅の3つの駅舎及びホームにLED化を計画。令和8年度工事完了予定である。

問 **養老鉄道の多様な利用は。**

答 「SDGsマルシェ」「まるごと肉まつり養老」開催時に、企画切符を販売し、利用者増加に努めた。また、伊勢神宮初詣、小学生親子対象の電車庫ツアーを開催し、養老鉄道の魅力を伝えている。
令和9年度以降に新型車両の更新計画がある。



養老鉄道2023年ラッピング電車